

# 活 動 報 告

## 群馬県環境アドバイザー前橋会

第12期はコロナ禍で会としてまとまって活動行動はほとんどできなかったが、アドバイザーとして個人個人は各地区で可能な範囲の活動を行ってきました。

行政との関係も県環境アドバイザーが発足以来、歴代の地区世話役の方や、会員の方で個人的にも積極的に折りにふれ接触を取り活動をしてきました、特にゴミの問題は重要な課題で取り組んで来ました。各施設の見学会を企画し実行、市のゴミ担当者による「出前講座」や勉強会を開催してきました。アドバイザーとして行政に提案したり、陳情をしたり成果もありました。過去にはレジ袋の廃止（エコバックの活用・店頭宣伝活動）、廃食油の回収（各地域に拠点を設置）、コンポストの活用、食器のリユース等、そのほかに地域の公民館と協力して自然保護や観察会、文化的遺産の保護、子どもエコクラブの指導等各人積極的に活動しています。

令和4年10月10日）市のイベントの「リユースマーケット」でのコンポスト活用について「ダンボール実演配布」を共愛学園前橋国際大学の環境サークルとの共同開催で説明展示や材料の配布等を行った。

11月13日市のイベント「チャレンジ in MAESOU」で「未使用食器のリユース」を市民・団体に呼びかけ提供してもらい、廃棄せず必要とする方に提供することで廃棄物の発生抑制と再利用をするといった啓発活動を行いました。（提供された陶器・食器は段ボール12箱分にもなり、配布しきれなかった陶器・食器は留学生が通う日本語学校や障害者福祉施設に寄付されました。

令和5年度は、コロナ感染予防対策の規制も少し緩和されましたが、まだ会としてのまとまった活動はできませんでした。夏を過ぎたころから世の中が少しずつ動き始め、会も久しぶりに開催できる雰囲気となり、9月、12月に会を開催しました。（会員の参加者はまだ少なかった）

令和5年9月16日元気21で開催、近況報告、情報の交換等を行った。

9月30日前橋市のイベントに参加して、中央通りでゴミ削減のチラシを配布して、コンポストの実演展示をして街頭PR活動を行った。

10月1日ケヤキウオークでコンポスト展示説明を実施。

12月16日げんき21で前橋会開催。

この3年間コロナの影響で会としての活動はあまりできませんでした。会員は地域に密着した活動を行ってまいりました。年度末でもあり会議や集会等が各団体、地区で始まって来ました、前橋会も新年度は状況を見て再開の時期かなと思っています。